

# 水道局だより

## 私たちの暮らしの中の水道 vol.1

平成30年8月16日発行

平成30年 第3号

水道局


☎237-5811 FAX237-5819

蛇口をひねれば、いつでもどこでも使える「水道水」について考えたことはありますか？


身近にある水道について知ってもらうために、水道事業の現状・課題・経営状況をシリーズでお伝えしていきます。第1回目は、私たちが使っている「水道の大切さ」について考えていきます。





### 私たちの暮らしの中の水

 私たちが生活していくには、水は欠かせないものだよ。飲み水、料理に使う水、お風呂、洗濯。どれも水が使えなかったら困るね。




 / 人の体は約60%が水分でできていて、命を守っていくためには1日に最低1.2ℓの飲み水が必要だといわれているんだよ。


 水って大切だね。でも海水や雨水をそのまま使えるわけではないし…。


 / そうだね。水がどこでも使えるのは「水道」が整備されているおかげなんだ。川などから取った水を浄水場できれいな飲める水にしたあと、水道管を使って皆さんの家に届ける仕組みを「水道」というんだ。


津市では、生活用として1日1人当たり約230ℓの水道水を使っていることになるので、もし水道水が使えなくなったら大変なことになるよね。

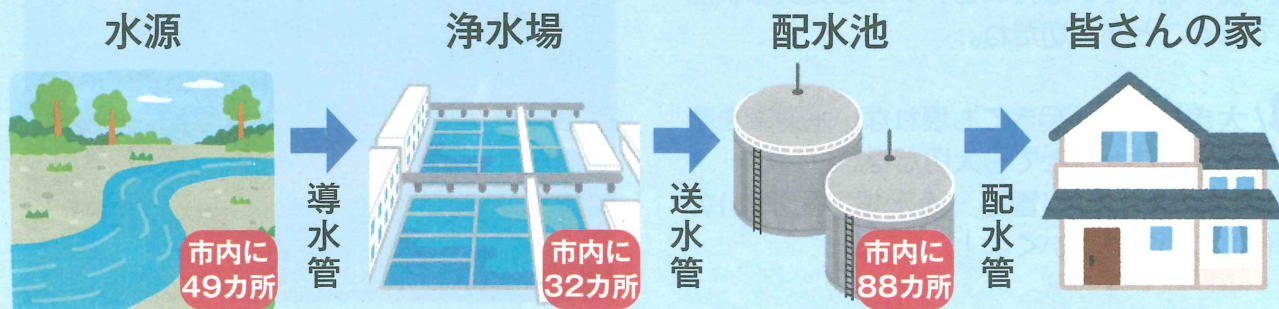
### 水道水が家に届くまで

 私たちが家で使っている水道水がどうやって運ばれてくるのか、詳しく知りたいな！

 / そうだね。水道水がみんなの家に届くまでを下の図で見よう！

 水はいろんな施設や水道管を旅して私たちのもとに届いているね。その分お金もかかると思うけど、どうしているのかな？

 / 水道にかかるお金は、皆さんからの水道料金で賄われているんだよ。




川の水や地下水を飲み水にするために取水


水源から取り込んだ水を口に入れても安全なように、砂や薬などできれいにろ過・消毒


きれいになった水を貯め、水道管を使って一定の圧力にして配水




## 「安全・安心・おいしい水」を安定して届けるために

 現在、日本の水道普及率は97%を超え、水道からいつでもどこでも安全で安心な水を手に入れることができるんだ。24時間365日休みなく水道水を作り、安心して飲めるよう、毎日水質基準を満たしているかチェックしているんだよ。

 たくさんの浄水場や配水池を日々見守っているんだね。だから蛇口をひねるだけで安心して水が飲めるんだね！

 津市の水道は…

- 水道管の長さ：約2,500km
- 水道水を届け始めた年：昭和4年
- 水道の普及率：約98%

 市内にある水道管ってとても長いのね！水道管は私たちのお家まで水を運んでくれる大切なものだから、きちんとお手入れしてあげないとね。





昭和4年の給水開始に向けた工事の様子




水道管取り替え工事の様子

## 水道管の交換が不可欠

 水道管は古いものから順番に交換しているけど、まだ交換されていないものは大きな地震などで壊れてしまう恐れがあるんだ。地中で水道管が壊れてしまうと、水がたくさん噴き出したり、道路が陥没して穴が空いたりしてしまうこともあるんだよ。配水池に水があっても、水道管が壊れてしまうと、皆さんのもとに水を届けることができないよね。だから、水道管の耐震化がとっても重要なんだ。

 今は、昔作った水道管を古くなりながらも使い続けているけれど、いつも丈夫な状態にしておくことが大切だね。

 大きな地震が起きても壊れない水道管を整備することがとても大切だね。  
次回は、水道施設(管路・浄水場・配水池)の耐震化について見ていくよ！



水道管の破損で水が噴き出す様子



水道管の破損により陥没した道路

今の水道を維持することはもちろん、50年先、100年先の世代まで安定して水道水を届け続けるのは、今を生きる私たちの責任です。